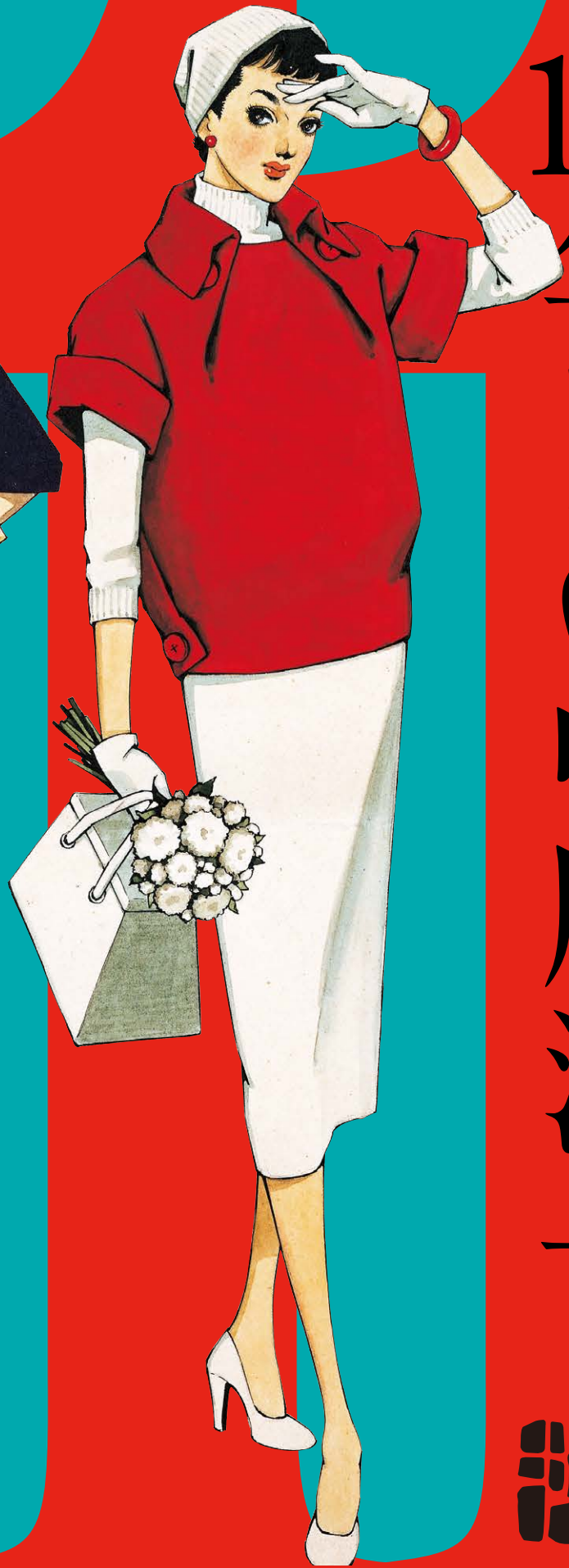


111年目の中原淳一

認



Junichi Nakahara: Year 111

2024. 6.29 sat ~ 9.1 sun

前期=6月29日(土)~8月4日(日) / 後期=8月6日(火)~9月1日(日) *会期中、一部展示替えあり 休館日=月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)
開館時間=午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
*毎週金曜日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)

入館料=一般1000(800)円、大学生800(640)円、高校生・60歳以上500(400)円、小中学生100(80)円 * ()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 *土・日曜日、祝休日及び夏休み期間は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料

【リピーター割引】観覧日翌日以降の本展会期中、有料の入館券の半券と引き換えに、通常料金から2割引きでご入館できます。なお、1枚の入館券につき、1回まで有効となります。

主催=渋谷区立松濤美術館、朝日新聞社
協力・監修=ひまわりや 企画協力=島根県立石見美術館

渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
Tel. 03-3465-9421
<https://shoto-museum.jp>
*会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。
© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

イラストレーション、雑誌編集、ファッションデザイン、インテリアデザインなどマルチクリエイターと呼ぶべき多彩な活動で知られる中原淳一(1913-1983)。彼は、戦前に雑誌『少女の友』でデビューをし、挿絵や表紙を手がけ人気を博したほか、編集にも関わっていきました。1937年に日中戦争が勃発すると、戦時色が強まる中で同誌を去ることを余儀なくされます。しかし、中原の雑誌制作への情熱は絶えることはなく、終戦の翌年の1946年には自身が編集長を務める『それいゆ』を創刊。その後も『ひまわり』、『ジュニアそれいゆ』、『女の部屋』などの雑誌を手がけていきました。

中原の生誕111年目を記念し開催される本展では、こうした数々の雑誌に掲載された挿絵や表紙の原画をはじめ、デザインした衣服、アーティストとして制作した絵画や人形など、中原の仕事の全貌に迫ります。「再び人々が夢と希望を持って、美しい暮らしを志せる本をつくりたい」という想いのもと、中原が生み出したこれらのクリエイションの数々を通じて、今もなお色褪せることのない魅力を紹介します。

イベント

① 記念講演会「父・中原淳一との思い出」

日時=7月20日(土) 午後2時~(約1時間)

講師=中原芙蓉氏(中原淳一長女)

聞き手=当館学芸員

場所=地下2階ホール

*無料(要入館料)

*定員70名(要事前申込、応募者多数の場合は抽選)

② アートトーク

「中原淳一展開催にあたって」

日時=8月18日(日) 午後2時~(約1時間)

講師=中原利加子氏

(株式会社ひまわりや代表取締役/本展監修者)

場所=地下2階ホール

*無料(要入館料)

*定員70名(要事前申込、応募者多数の場合は抽選)

③ 夏休み子ども美術教室

「アップリケでタペストリーを作ろう!」

中原淳一デザインのアップリケの図案をつかって、オリジナルのタペストリーを作ります。

*本ワークショップでは縫い針を使用します。小学校4年生以下の方は保護者の同伴をお願いいたします。

日時=8月2日(金)/3日(土) 各日午後2時~4時

講師=宇山あゆみ氏(人形作家)

対象年齢=小・中学生

(保護者同伴可)

場所=地下2階ホール

*無料

*定員各日12名(要事前申込、

応募者多数の場合は抽選)

◎ イベント申込方法

往復はがきまたはホームページの申込フォームにて承ります。

①②は1通につき1名まで、③は1通につき2名までのお申込みが可能です。応募者多数の場合は抽選となります。

【往復はがき】 〒・住所・氏名(ふりがな)・日中連絡のつく電話番号、参加希望のイベント名をご記入の上、中原淳一展イベント係まで。また、夏休み子ども美術教室にお申込みの方は、参加希望日程及びお子様の学年もご記入ください。

【申込フォーム】 当館ホームページ上の①~③各イベントフォームからお申込みください。

*締切(いずれも必着) ① 記念講演会=7月1日(月) ② アートトーク=7月29日(月) ③ 夏休み子ども美術教室=7月11日(木) *迷惑メール等の受信制限をされている方は、事前に当館からのメール「@shoto-museum.jp」が受信できるようにドメイン設定をお願いいたします。



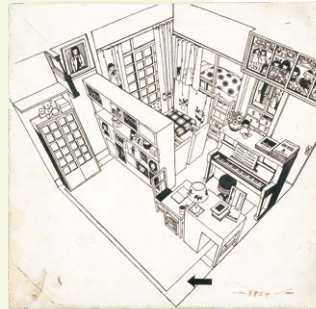
《屏絵原画(「中原淳一ブラウス集」)》1955年



《表紙原画(「それいゆ」第39号)》1956年



《アップリケのフレアスカート》1955年



《子供は大人のおさがりばかりで楽しく暮らす(「それいゆ」第16号原画)》1951年



《SOLEIL PATTERN(「それいゆ」第25号口絵原画)》1953年



《三人のスリ》1962年



《屏絵原画(「きものノ絵本」)》1940年

学芸員によるギャラリートーク

7月13日(土)、7月28日(日)、8月23日(金)

各日午後2時~(約40分)

*無料(要入館料) *事前申込不要

館内建築ツアー

白井晟一設計の美術館建築を職員がご案内します。

7月5日(金)、12日(金)、19日(金)、26日(金)、

8月2日(金)、9日(金)、16日(金)、23日(金)、

30日(金) 各日午後6時~(約40分)

*各回定員20名 *無料(要入館料) *事前申込不要

*会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。

最新情報は、当館ホームページ等でご確認ください

次回展覧会のご案内

空の発見

2024年9月14日(土)~11月10日(日)

渋谷 松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

Tel. 03-3465-9421 <https://shoto-museum.jp>

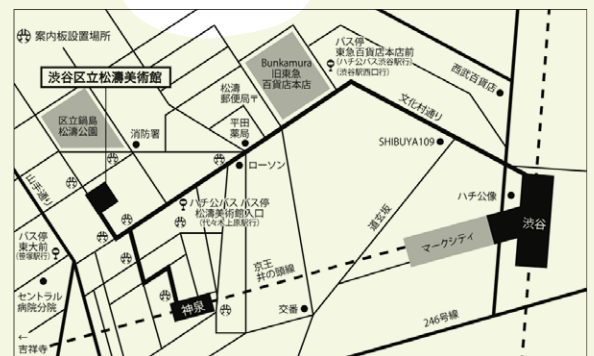
アクセス=京王井の頭線「神泉」駅下車徒歩5分

JR・東京メトロ・東急電鉄「渋谷」駅下車徒歩15分

表面=左:表紙原画(「それいゆ臨時増刊 冬のスタイルブック」)(部分)

1953年/右:表紙原画(「それいゆ臨時増刊 590スタイル スーツとセパ

レート」)(部分) 1953年 いずれも中原淳一作、個人蔵



いずれも中原淳一作、個人蔵 © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIA